令和3年度鳴門教育大学教員免許状更新講習概要

選択領域

講習の区分	受講者が任意に選択して受講する領域
講習の名称	【選択】日本国憲法をめぐる現代的な課題について
受講者定員	20人
受講対象者	小学校教諭, 中学校社会科教諭, 高等学校公民科教諭
開設日	令和3年10月10日(日)
実施形態	対面講習
講習時間	6時間
講習会場	鳴門教育大学(徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地)
担当講師	麻生 多聞
受講料	6,000円

講習の内容	小中高等学校の社会科教科書を用いて、憲法学の現代的な課題をめぐり、教育実践に活用できるような深く専門的でわかりやすい講義を行います。小学校では、鳴門市代表に選ばれた小6児童の自由研究「広島戦争-原爆・毒ガスを知ることで考える」を参照しつつ、被害・加害の両面をおさえた平和学習の可能性を探ります。中学校、高等学校では、人権をめぐって生徒の思考をゆさぶることができるような事例をとりあげ、最先端の学説を駆使して解説します。
講習のねらい	小中高等学校では、教科書を使った授業をすることが原則であるが、ページ数に限りがあり、内容は一部の情報にとどまることが多い。憲法学の最新の知見に基づいて、教科書を補い、児童生徒の学習意欲を喚起することにつながる情報にふれていただき、教科指導の成果を高められるような講義を行います。
講習到達目標	<p>①小学校社会科平和学習において、広島における被害と加害という2つの側面から多面的な実践を行うための手がかりを得る。</p> <p>②中学校社会科公民的分野での人権学習において、人権享有主体をめぐるアポリアとしての事例を参照し、教科書に書かれている「人が人である以上当然に有する権利」という人権の定義の奥深さ、難しさを理解することができる。</p> <p>③高等学校公民科での選挙制度をめぐる学習において、小選挙区制・中選挙区制・大選挙区制・比例代表制をはじめとする様々な選挙制度を概観し、「理想的な選挙制度とは何か」という授業実践のための手がかりを得る。</p>
講習スケジュール	<p>令和3年10月10日(日)</p> <p>8時30分～ 8時45分 受付 8時50分～ 9時00分 オリエンテーション 9時00分～10時30分 講義 10時40分～12時10分 講義 12時10分～13時00分 昼食休憩 13時00分～14時30分 講義 14時40分～16時10分 講義 16時15分～16時25分 試験問題/アンケート用紙 配付・説明 16時25分～17時05分 履修認定試験 17時05分～17時15分 解答用紙/アンケート用紙 回収</p>
履修認定試験の方法	筆記試験
成績評価	成績評価は、講習の担当者が作成した試験の成績から判断します。履修認定試験の結果、受講者の理解が到達目標に達したと認める場合は成績審査に合格した者となりますが、その際の評価は60点以上の採点をもって行います。また、受講姿勢において、居眠りや机下での携帯電話操作などが見られた場合は、減点をします。
持参するもの	受講票, 筆記用具
台風接近等に伴う休講の振替日	令和3年10月16日(土)
その他	受講申込みについては、「募集要項」を参照してください。